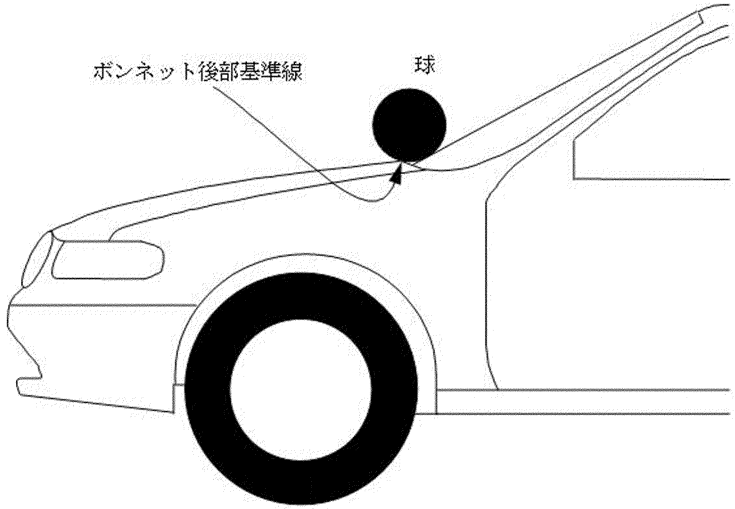
2.7.　「ボンネット後部基準線」とは、直径165㎜の球を前面ガラスと接触させながら車両前部上面上を左右に移動させたときの球と車両前部上面との最後方の接点の軌跡をいう（図３参照）。なお、本手順中、ワイパーブレード及びワイパーアームは無いものと仮定する。

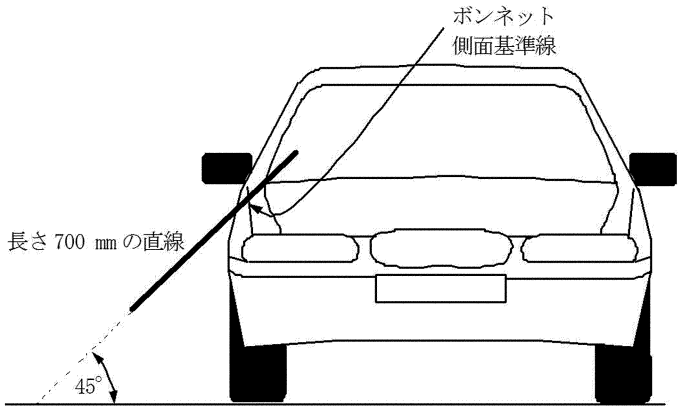
ボンネット後部基準線と2.9.に規定するボンネット側面基準線が交わらない場合には、別紙３の3.1.1.に規定する方法により、ボンネット後部基準線に変更を加えなければならない。

図３　ボンネット後部基準線



2.8.　「ボンネット側面基準線」とは、700㎜の長さの直線を車両中心線を含む鉛直面と平行な鉛直線から内側に45°傾けて車両前部上面の側面と接触させながら前方から後方に移動させたときの直線と車両側面の間での最も高い接点の軌跡をいう（図４参照）。

図４　ボンネット側面基準線



2.9.　「ボンネット上面」とは、次の(a)から(c)に囲まれた領域のことをいう。

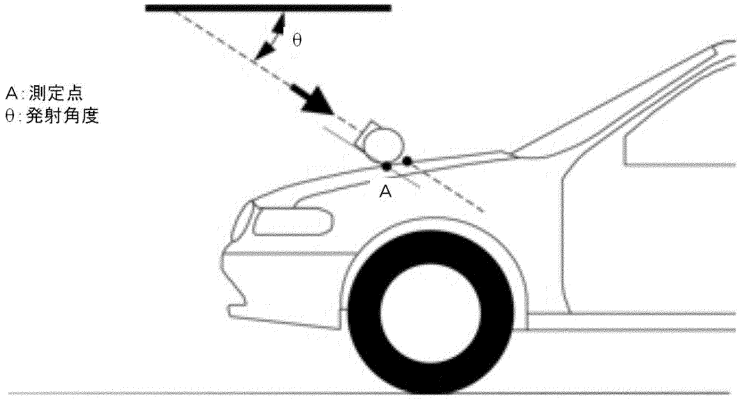
(a)　ボンネット・リーディング・エッジ基準線

(b)　ボンネット後部基準線

(c)　ボンネット側面基準線

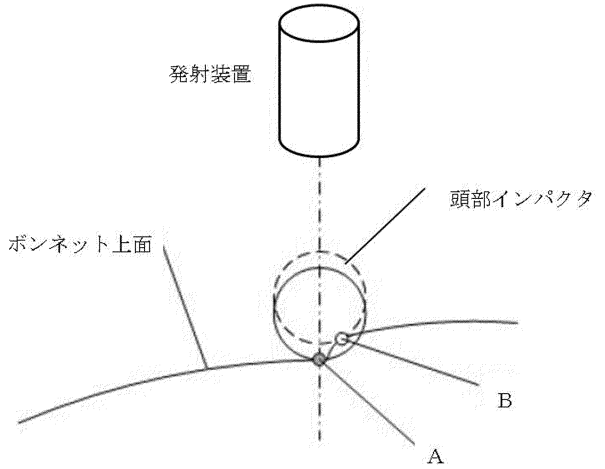
2.10.　「測定点」とは、インパクタが自動車に接触したときの測定値が最大となる点をいう。（図５Ａ、図５Ｂ、及び図５Ｃ中のＡ点参照）

図５Ａ　測定点及び発射角度（車両側面図）



2.11.　「第一接触点」とは、インパクタが車両外面の形状により複数回接触する場合の最初に接触する点をいう。（図５Ｂ及び図５Ｃ中のＢ点参照）。

図５Ｂ　頭部インパクタ試験における測定点及び第一接触点（車両断面図）



Ａ　測定点
Ｂ　第一接触点